

英文誌「Ornithological Science」のペーパーレス化の推進について

学会員の皆様

先日お伝えした通り、鳥学会では環境負荷の低減ならびに学会支出の軽減を目的として、英文誌「Ornithological Science」のペーパーレス化に向けた検討グループを2022年10月5日に立ち上げました（メンバーは末尾に記載）。そして2023年7月3日、英文誌ペーパーレス化に関するアンケート調査を実施し、その結果を同年8月22日に学会ホームページで公開いたしました。ご協力いただいた皆様に、深く御礼申し上げます。

学会員アンケートの結果、**回答者の95%**から英文誌ペーパーレス化の全体的な方向性について賛同を得ました。こうした結果を踏まえ、英文誌ペーパーレス化検討グループは、英文誌「Ornithological Science」のペーパーレス化の実現可能性が高いと判断いたしました。現在、アンケート等でいただいた様々なご意見等を踏まえ、より詳細な検討を急ぎ進めております。そして今年度の石川大会で「英文誌のペーパーレス化」を総会議案として提出することを目指しております。そこで今回は、ペーパーレス化が実現した場合のご案内事項（予定）ならびに現時点で検討中の項目などにつきまして、以下の通りご案内させていただきます。

ペーパーレス化が実現した場合のご案内事項

- ・これまで年2回郵送していた英文誌「Ornithological Science」の郵送を廃止いたします。ただし、団体会員および一部の配布を希望される学会員に対する冊子の配布については、引き続き検討いたします。
- ・J-STAGEではこれまで通り、学会員は各自のID・パスワードを使ってログインすることで、論文PDFを閲覧およびダウンロード可能です。（非会員は公開一年後に論文PDFが閲覧およびダウンロード可能です）。
- ・J-STAGEのID・パスワードを紛失した学会員がいる可能性を踏まえ、ペーパーレス化が承認された際は学会員一斉メール（メールアドレス未登録者には郵送）にてID・パスワードを再度ご連絡いたします。この機会に、ぜひご自身の「マイページシステム」からメールアドレスの登録または更新をお願いいたします。
- ・著者への別刷り30部の無料配布は廃止とし、著者が直接印刷会社に依頼注文する形に変更させていただきます。依頼方法については、論文投稿システムを用いて著者らに案内することを検討しています。
- ・同様に、~~これまで査読協力者の皆様にお礼として進呈していた英文誌の別刷り無料権（50部）も廃止とさせていただきます。~~これまで、和文誌・英文誌ともに査読協力者の皆様にはお礼として別刷り無料権（50部）を進呈していました。今後は、和文誌・英文誌問わず査読協力者の皆様には「和文誌の別刷り無料権（50部）」を進呈いたします。英文誌の別刷り無料権は廃止といたします。大変申し訳ございませんがご理解いただけますと幸いです。
- ・英文誌の新着論文については、多様な媒体（学会HP、一斉メール、鳥学通信、SNS等）を用いて積極的な情報発信に努めます。その際、タイトルと要旨の日本語訳も添えるよう努めます。ただし、これらの作業には各委員会委員の作業負担が増えることが想定されるため、アルバイト等の負担軽減策の導入を前提とさせていただきます。このためペーパーレスの開始後すぐに導入できるかどうかは未定となります。
- ・英文誌の表紙絵は今後もJ-STAGEに掲載される予定です。現時点での変更予定はございません。
- ・今回のペーパーレス化にともなう学会年会費の変更等はございませんが、今後も会員サービスの維持・向上に努めてまいります。何卒ご理解いただけますと幸いです。

現在の検討事項

- ・ペーパーレス化の開始時期は2024年1月1日を目指しております。
- ・多様な媒体での新着論文の宣伝ならびにタイトルと要旨の日本語訳の掲載に必要な業務量を計算するとともに、アルバイトの雇用などの負担軽減策を検討しています。
- ・これまで鳥学会が行ってきた雑誌の寄贈および交換について、図書管理委員とともに検討中です。
- ・希望される学会員への冊子配布の継続の可否について
一部の団体会員（3件）、一般会員（5件）および寄贈先（5件）から冊子の継続希望のご要望をいただきました。また例年書店からの購入もあります（3件程度）。これらを受け、「50部のみ」印刷することを想定した見積もりを行いましたので、見積もり結果をご参考までにお知らせいたします。

見積もり(1)これまで通り1400部印刷する場合：印刷製本200万円、郵送40万円（合計240万円）

見積もり(2)50部のみ印刷する場合：印刷製本180万円、郵送2万円（合計182万円）

見積もり(3)0部印刷する場合（完全電子化）：印刷製本156万円、郵送0円（合計156万円）

※0部の場合でもPDF作成やJ-STAGE搭載に費用がかかります。

※0部、50部どちらの場合もカラーの図を見込んだ価格となっていますので、追加費用はありません。

上記の結果、50部のみ印刷する場合は、0部印刷の場合と比べて26万円の追加支出がかかります。ただし書店売り上げと、希望する一般会員への売り上げ分を考慮すると20万円の追加支出となります。現在、この見積もり結果をもとに冊子の継続を検討中です。尚、希望する団体会員（会費1万円で、権利は会誌の受け取りおよび刊行物の割引購入に限られている）には冊子の無償配布もしくはJ-STAGEのID/パスワードの付与を想定しています。

- ・上記と関連して、一般会員がこれまで通りの冊子の印刷・郵送を希望される場合、英文誌冊子の年間購入費として追加で3000円お支払いいただくことを想定していますが、現時点では確定していません。~~希望する一般会員に冊子を販売する場合の価格は年間3000円を想定していますが、現時点では確定していません。~~
- ・これまで著者負担となっていたカラーの図表等の使用について、0部、50部どちらの場合も無償化することを想定していますが、現時点では確定していません。

その他のご案内事項

- ・英文誌のオープンアクセス化については、本検討グループにおける議論の対象外とし、現段階では導入の予定はありません。しかし、鳥学会として積極的に議論していくべき内容であることに同意し、英文誌委員長にはご意見を共有しております。
- ・和文誌のペーパーレス化についても同様に、本検討グループにおける議論の対象外とし、現段階では導入の予定はありません。こちらも和文誌委員長にはご意見を共有しております。

英文誌ペーパーレス化検討グループ（水田拓・越智大介・上沖正欣・藤田剛・嶋田哲郎・松井晋・片山直樹）

2023.08.20 作成

2023.08.25 案内事項を一部修正

2023.08.31 案内事項をさらに一部修正